

事業報告

講座名	エコっこスクール2015「親子で化石の採集体験と森の観察」		
日時	平成27年11月29日(日) 9:30~15:30		
場所	美祢市歴史民俗資料館 美祢市化石採集場 森の駅	参加者数	72人 (子ども42人大人30人)

1. スケジュール

9:20~9:30	集合、受付(美祢市歴史民俗資料館)
9:30~9:35	開講式
9:35~9:50	美祢市の化石についての学習
10:00~10:20	美祢市化石採集場へ移動
10:20~11:20	化石の採集体験
11:30~11:45	森の駅へ移動
11:45~13:00	釜炊きごはんでおにぎり作り、昼食・休憩
13:00~14:15	森の観察
14:15~15:00	木の実などを使ったクラフト
15:00~	アンケート記入・解散

※クラフトが出来上がった順に解散

2. 講師

化石の学習、採集	美祢市文化財保護課 主任 篠田健二氏
森の観察、クラフト	森の駅 駅長 園田 秀則氏

3. 活動内容

【開講式】

美祢市歴史民俗資料館の1階展示室に集合し、開講の挨拶と講師の篠田さんを紹介した。

【美祢市の化石の学習】

講師の篠田さんより、美祢市で採集できる化石の種類と時代の説明があった。地球の歴史では5回の大量絶滅(ビッグファイブ)があった。その中の1回の中生代の終わり(2億5千年前)のペルム紀末には90~96%の生物が絶滅した。美祢市の化石採集場の地層は約2億3千年前の地層で、ペルム紀末(2億5千年前)の大量絶滅後に生きものや植物の種類や数が回復した時代の陸の地層とのことである。これほど古い地層で化石の採集ができるのは日本ではここだけであり、世界的にも貴重な場所である。採集できる化石は主に植物(シダ、トクサ、イチョウ)や昆虫(ゴキブリ、トンボ、ハチ)などの説明があった。



【化石の採集体験】

美祿市化石採集場において、はじめに篠田氏から化石を採集する際の諸注意や見つけるポイントなどの説明があり、親子でそれぞれハンマーを持ち、化石採集を行った。

参加者はそれぞれの場所で石をハンマーで割り、断面を熱心に観察し、化石らしい模様を見つけるとすぐに講師に確認してもらった。

採集できた化石は植物の葉や茎の一部が大半であったが、中にはシダの葉の化石を4個も採集した親子もおられた。(写真左下) 採集時間は約40分で、化石の種類までは判別できないものも多かったが参加者全員が化石を採集することができた。



【釜炊きごはんでおにぎり作り】

森の駅に移動後、講師の園田秀則氏の紹介を行い、釜炊きごはんの炊き方を見学し、その後、各班に分かれ、おにぎりを作って昼食休憩とした。



【森の観察】

最初に木には水(養分)が通る小さな穴が開いていることを実験で確認した。水を張った容器に木材を浸け、上から息を吹き込むと水に浸けた方からブクブクと空気が出て、木には水(養分)の通り道があることを確認した。

森の観察では樹木の種類は葉で見分けることや、山を手入れせず放置すると樹木の枝が茂り地面に日光が届かなくなり下草も生えなくなるため、山は保水力が無くなり大雨などで山崩れなどの自然災害が起きる。管理された山は日光が地面まで届くので、下草が生え落ち葉の分解も進み腐葉土は1年に約1cm堆積される。腐葉土が厚く堆積した山は雨水がゆっくりと浸み込むので、保水力があり自然災害に強い山になること等を学習した。他にも樹木の観察の他、野イチゴを食したり、アカマツの樹齢の見分け方やクラフトの材料集めも行った。



観察した植物

- | | |
|--------|----------|
| ・ウラジロ | ・アカマツ |
| ・ガクウツギ | ・エゴノキ |
| ・カゴノ木 | ・野イチゴ など |

【木の実などを使ったクラフト】

各自で採集した材料と準備された材料(いろいろなサイズの小枝や枝を切ったもの等)を用いて、ホットボンドを使って工作を行った。



ホットボンドは2、3人程度で共有し、協力しながら使用した。また、木に穴を空けるなどの希望にも園田氏が対応した。

材料の選定や加工、油性ペンで色づけをするなど子ども達が自由に行った結果、多種多様な作品ができあがった。



クラフトを早く完成させた数人の子ども達が1つしかないブランコで遊びだしたので終了予定時間まで少し時間があつたが、クラフトが完成した参加者からアンケートを記入後、流れ解散とした。

4. まとめ・感想

当日は曇り空で、朝と夕方は少し肌寒く感じる気温であったが、日中はとても活動しやすい気温であった。午前の化石採集では慣れない道具を使って熱心に採集・観察を行い、参加者全員が化石を採集することができた。森の駅での活動は見る・触る・匂う・食すなど五感を使った体験で低学年の子どもでも理解しやすかったようである。今回、参加者（親子）が72人と多かった為、指導者の説明が後方の方では聞きとりにくかった。しかし、1日を通して、化石の採集や森での体験は日常生活の中ではできないのでとても貴重な体験になったと思う。

今回は15組40名の募集に対して54組132名の参加申込があり、抽選の結果、24組65名を当選とした。今回は参加決定通知書に参加者全員分の名前と人数を明記し送付したのだが、参加申込をしていない参加者（兄弟や保護者等）が数人おられた。中には数日前に追加で参加したいと問い合わせがあり理由を説明し、お断りをしたにもかかわらず当日無理やり参加された保護者もおられた。

幸い事故やけが人もなく無事終了することができたが、今後、親子での講座では危険防止の為、参加申込のない者（特に幼児）は当日参加できない旨をよく説明し、車等で待ってもらえるなどの対策を講じていく考えである。